

## 1月29日(水) 3年保健体育 授業参観者の感想

- 良かったという意見が多く出た。疑似体験、豊富な掲示物、活発な話し合い活動と発表、全て見応えがあり良かった。参観して見応えがあっただけでなく、触れにくい点、避けて核心に迫れなかった点などを、日ごろの積み上げとテクニックで正しく捉えさせ、性感染症という問題を性教育、差別や偏見といった視点を持ち、見事にまとめられていた。「社会に出た時、一番大切なことは授業じゃ教えてくれない」という言葉を昔聞いたことがある。しかし、今回の授業が大切なことを教えてくれる、気付かせてくれるものだった。新たな人権課題の研究は、これから生きる子どもたちにとって、とても大切なことで、貴重な機会になっていると感じた。
- 生徒が最後のまとめの時に、「エイズになった人も大変な思いをしているので～」と発表していたのは印象的だった。視野が広く、相手の気持ちも考えられていて、人権を大切にしている授業だと思った。すばらしい授業でした。
- 教科の中で行う性教育と課題教育として行う性教育との違いをつけつつ、正しい知識を主体的に学び取らせる様々なしかけがあり、大変見ごたえのある授業であった。
- 復習が演技や発言を交えてテンポよく行われ、ウォームアップにもなっていた。
- 知識を教えるかたわら、生徒の主体性を引き出せるよう、当時の人々の立場に立たせたり、前時で学んだこととつなげて知識を使えるようにしたり、具体的パターンについて考えたり、当時の人々に伝えたい言葉を書かせたり、予告をして予習を促したりと、常に仕掛けがなされていた。
- 正しい知識を学び続けることの意義にまでつなげられていた。
- 教科指導の中で、人権についても指導していくことの大切さを改めて気付かせてもらいました。ありがとうございました。
- 先生と生徒たちの一体感のある授業だった。特に板書が見事だった。生徒たちの授業参加や学力に関係なく、積極的に発表している姿が印象的だった。
- 内容として情報量の多さを計画された板書で整理しながら、一番伝えたいところは手書きの板書を使いインパクトがあったし、キーワードが生徒たちの心に刻まれたと思う。
- 当時の新聞記事や報道によって、人々が不安感を持ち、当事者が差別されていたことを知りました。正しく知ることが大切であると思わせる授業でした。日常生活で感染を防ぐために、生徒がよく考えて取り組んでいたと思います。授業を見せていただき、勉強になりました。ありがとうございました。
- とても面白く、大変に勉強になりました。終始生徒の表情も良く、自発的に取り組む姿が見られて教室全体が暖かい雰囲気になっていました。また、指導案がとても緻密に練られていて感動しました。指導観や展開も素晴らしく、性感染症と人権意識を関連づけた見本になる授業でした。同様の指導案を作成できるようになりたいので、元データのフォーマットを共有していただきたいくらいです。
- 事前の授業や初めのふり返りで知識面をしっかり土台にして取り組まれたが、後半のまとめや人権面での充実につながった授業だったと思います。エイズを題材とした授業だったが、エイズに対する世間の間違った情報は、まるでコロナ感染ウィルスに対するものとそっくりでした。数十年前に起きたことがまた起きています。今後同じことが起きてもおかしくありません。今回の知識、予防方法などのしくみは今後も生きてくると思いますし、必要なことになると感じました。

